

NEWS RELEASE

“ばかうけ”の栗山米菓、育休取得率100%を男女共に2023年度から継続中
国際女性デーに、女性活躍の実践事例や社員の声を公開
～制度と風土で自分らしく働き続けられる環境を整備、人的資本経営を推進～

“ばかうけ”“瀬戸しお”“星たべよ”などの米菓を製造販売する、株式会社栗山米菓（本社：新潟県新潟市、代表取締役社長：栗山大河）は、このたび、3月8日の「国際女性デー」にあわせ、当社における女性活躍推進の取り組みと、制度を活用しながら活躍している社員の事例をまとめました。育児休業取得率は女性・男性ともに100%を2023年度から継続しており、制度整備と風土醸成の両輪で、自分らしく働き続けられる環境づくりを進めています。こうした取り組みを通じ、人的資本経営を推進しています。



■国際女性デーに寄せて

国際女性デー（International Women’s Day）は、国連が制定した毎年3月8日の国際的な記念日で、女性の社会的・経済的・文化的成果を称えるとともに、ジェンダー平等の実現に向けた行動を促す日です。当社では、本記念日を、働き方や環境を見つめ直す機会でもあるととらえ、女性活躍推進の取り組みを発信します。

今後も、制度の整備にとどまらず、社員一人ひとりが制度を“使いやすい”と感じられる職場風土づくりを進め、多様な人材がいきいきと活躍できる企業を目指してまいります。

■女性活躍と両立支援を支える制度拡充

当社では、少子高齢化や多様なライフスタイルの広がりを背景に、出産・育児・介護・不妊治療・更年期など、さまざまなライフステージに対応した支援制度の拡充を進めています。女性活躍推進にとどまらず、男性の育児・介護参画も含めた「全社員型」の両立支援を強化してきました。

その一環として導入しているのが、当社主力商品「ばかうけ」のキャラクターにちなんだ福利厚生制度『バ

リンの“働く女性応援パッケージ”』および『ボリンの“イクメン応援パッケージ”』です。
制度を“親しみやすく”“利用しやすく”するため、キャラクター名を活用しながら、全ライフステージに対応した支援を体系化しています。

これらの取り組みの結果、2023年度以降、育児休業取得率男女100%を継続しています。制度を整えるだけでなく、上司や同僚の理解促進、取得を後押しする風土づくりを進めることで、「制度がある」状態から「制度が使われている」状態へと進化させています。

■主な制度内容（抜粋）

◆バリンの“働く女性応援パッケージ”

- ・ エフ休暇（生理・PMS・不妊治療・更年期等に対応）
- ・ 娘の出産のための休暇（有給・3日）
- ・ 婦人科検診費用補助
- ・ 育児短時間勤務制度（小3まで）
- ・ 子の看護等休暇
- ・ 育児時差勤務制度（小6まで）
- ・ 専門家オンライン相談サービス「ファミくる」
- ・ テレワーク支援
- ・ 介護支援制度 など

◆ボリンの“イクメン応援パッケージ”

- ・ 妻の出産のための休暇（有給3日）
- ・ 出生時育児休業（産後パパ育休）
- ・ 専門家オンライン相談
- ・ テレワーク支援
- ・ 介護支援
- ・ 健康診断費用補助 など

※制度詳細（2025年7月7日発表 プレスリリース）

社員とその家族も支える福利厚生制度に拡充 育児・更年期支援や、娘の出産のための休暇など全ライフステージに対応：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000081.000063435.html>

■外部認定の取得

当社は、女性活躍推進および両立支援の取り組みにおいて、厚生労働省の「くるみん」「えるぼし（3段階目）」、新潟県の「Ni-fulゴールド」認定を取得しています。これらの認定は、当社の制度整備や職場環境づくりに関する取り組みが外部から評価されたものです。

■人的資本経営を体現する、現場の声

女性活躍推進は、企業の持続的成長を支える重要な経営テーマの一つです。当社では、制度の整備だけでなく、制度が活用され、社員一人ひとりが能力を発揮し続けられることが何より重要だと考えています。ここでは、制度を活用しながらキャリアを築いている社員の声を紹介します。

営業職 Kさん

出産後も仕事を続けたいという思いがある一方、営業職として時短勤務で成果を出せるのか不安もありました。しかし制度を活用することで、限られた時間の中で計画性や効率を意識するようになり、仕事と家庭のメリハリが生まれました。現在は、ライフステージの変化を経験したからこそ得られた視点を商談や売り場提案に活かしたいと考えています。

通販部門 Sさん

子どもを送り出す時間を大切にしながら働けることに安心感があります。看護休暇や時間単位有給休暇などを活用することで、家庭と仕事の両立が現実的なものになりました。限られた時間の中で優先順位を意識するようになり、業務への向き合い方も前向きに変化しています。今後は会員数10万人達成を目標に、より魅力あるオンラインショップづくりに挑戦していきます。

■代表取締役社長 栗山大河 コメント

当社にとって女性活躍推進は、単なる制度整備ではなく、企業の持続的成長を支える重要な経営テーマです。制度があるだけでなく、社員一人ひとりが安心して活用でき、能力を発揮し続けられる環境を整えることが何より重要だと考えています。

育児休業取得率が男女ともに100%を継続していることは、制度と風土の両面が機能している証でもあります。今後も多様なライフステージに寄り添いながら、誰もが自分らしく働き続けられる組織づくりを進め、人的資本経営を一層強化してまいります。

■ 会社概要

社名 株式会社栗山米菓
本社 新潟県新潟市北区新崎2661番地
代表者 代表取締役社長 栗山 大河
設立 1949年2月5日
社員数 約750名（男性52%、女性48%）
資本金 8,677万円
事業内容 米菓の製造・販売
主要商品 「ばかうけ」「瀬戸しお」「星たべよ」など

■コーポレートブランド「Befco（ベフコ）」とは

「Befco」は、Beika（ベイカ）・Frontier（フロンティア）・Company（カンパニー）の頭文字から名付けられたブランドです。私たちは、米菓の枠を超えた“たのしさ”と“おいしさ”と“あたらしさ”を創造し、世界中から愛されるブランドを目指しています。

■事業内容

「ばかうけ」「瀬戸しお」「星たべよ」などの米菓を製造・販売している菓子メーカー。
“たのしい・おいしい・あたらしい”をテーマに、ロングセラー商品をはじめ、時代に合わせた新しい価値提供にも挑戦しています。伝統を大切にしながら、新しい食の楽しみ方を提案し続けています。



©やなせたかし/フレーベルTMS-NTV

■ その他会社データ (2024年度)

売上 268億円

平均年齢 37歳

平均勤続年数 約15年

育児休業取得率 女性100%、男性100% (2023年度より継続中)

※数字でみる栗山米菓のサイト : <https://recruit.befco.jp/data/>

■ 代表取締役社長プロフィール

栗山 大河 (くりやま たいが)

生年月日 : 1994年4月30日 (31歳)

成蹊大学経済学部 卒業後、株式会社平和堂を経て2020年より栗山米菓へ。2025年4月に代表取締役社長に就任。次世代の経営体制を牽引中。

<公式サイト>

トップページ <https://www.befco.jp/>

Befco オンラインショップ <https://befco-shop.jp/>

リクルートサイト <https://recruit.befco.jp/>

【報道各位 お問い合わせ先】

(株)栗山米菓 広報担当

メールアドレス : publicity@befco.jp

TEL 025-259-0155

【お客様 お問い合わせ先】

(株)栗山米菓 お客様係 TEL 0120-957-893

株式会社 栗山米菓

〒950-3134 新潟県新潟市北区新崎2661番地
TEL 025-259-2801